

心理劇

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

第21巻 第1号／平成28年12月1日 Vol.21, No.1, December 2016

巻頭言

【心理劇—対人関係の変革】を再読して……………春原 由紀… 1

特集＜サイコドラマの新しい発展＞

サイコドラマの新しい発展……………磯田雄二郎… 3

心理劇における新しい発展-統合という視点から……………高良 聖 … 7

私と SST とサイコドラマ～成人を対象とした SST のこれまでとこれから～……………瀧本 優子…13

リワークデイケアで行われた成人発達障害者のためのサイコドラマ

—11週間の介入で有意に症状が改善したグループ治療の一考察—……………横山 太範…19

映画を用いた実践

—大人の発達障害者への感情認知トレーニングと精神療法的な営み—……………大濱 伸昭…25

プレイバックシアターの現在—IPTN World Conference 2015, および Japan Playback

Theatre Conference 2016 Tokyo から……………久保田智之…29

特別寄稿

ザーカ・モレノさんを偲んで……………増野 肇 …33

実践報告

心理劇を通してみられたある青年期高機能自閉スペクトラム症者の共感と自己理解の

変容過程……………松崎 泰・滝吉美知香・高田 弘子・田中 真理…35

技法紹介

大量虐殺の加害者を変容させるドラマセラピーの可能性

—映画「アクト・オブ・キリング」の考察を通して—……………尾上 明代…47

書 評

認知症高齢者の心理劇「感ドラマ」—動作理論にもとづく支援（中島健一著）—……………川幡 政道…59

情 報

第41回西日本心理劇学会大会印象記……………都甲 絢子…65

日本集団精神療法学会第33回大会印象記……………藤堂 信枝…67

日本関係学会第38回大会報告……………矢吹美美子…69

会 報……………71

日本心理劇学会

JAPAN PSYCHODRAMA ASSOCIATION

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

Vol.21, No.1 / December 2016

CONTENTS

Remark

Rereading of "Psychodrama – an inovative approach to human relationships" –···Yuki Sunohara··· 1

Remarks on Special Articles

New Progress in Psychodrama··········Yujiro Isoda··· 3

New Progress in Psychodrama -from a Viewpoint of Integration··········Kiyoshi Takara··· 7

The future connection between Social Skills Training and Psychodrama

~ Social Skills Training for adults from now on ~··········Yuko Takimoto···13

Psychodrama for Adult Autism Spectrum Disorders in a Rework Daycare.

-A discussion about 11-week group psychotherapy with significant improvement-

Motonori Yokoyama···19

Practical Training using Movie.

- Training of emotional recognition and psychotherapy for developmental disorder in adults.-

Nobuaki Ohama···25

The Current Situation of Playback Theatre: -Feedback from IPTN World Conference 2015 and

Japan Playback Theatre Conference 2016 Tokyo-··········Tomoyuki Kubota···29

Special Contribution

In Memory of Zerka Moreno··········Hajime Mashino···33

Practice Studies

Case report: Changes in Empathy and Self-Understanding of an Adolescent with Autism
Spectrum Disorder through Psychodrama.

Yutaka Matsuzaki ,Michika Takiyoshi, Hiroko Takata, Mari Tanaka···35

Technique Introduction

Potential Power of Drama Therapy to Transform Perpetrators of Mass Killing

-Through the analysis of the film, "The Act of Killing-··········Akeyo Onoe···47

Book Review··········59

Information··········65

Announcement··········71

Edited and Published by

Japan Psychodrama Association

(A-606.1-1 Ogura, Saiwai-ku, Kawasaki, Kanagawa 212-0054, Japan)

President : Kiyoshi Takara (Meiji University)

Editor : Harumi Yoshikawa (Tokyo University of Social Welfare)

Editorial Committee : Masamichi Kawahata (Yokohama City University)

Hiroko Ibaragi (Komazawa University), Masahiro Ito (Niigata University of Health and Welfare),

Susumu Harizuka (Nakamura Gakuen University), Yoshie ogasawara (Psychotherapy Office TMS),

執筆要項

1. 論文の内容は未公開のものに限る。事例提示の場合は、記載する情報は必要最小限とし、プライバシーに十分配慮すること。
2. 論文の長さは、原則として原著・総説・事例研究・実践報告は図、表、写真を含めてA4判(40字×40行)用紙11枚、短報・資料・その他は8枚を上限とする。上限を超えても掲載が認められることがあるが、その場合は原則として超過分の制作費は投稿者の負担とする。
3. 原稿は横書きで、原則として常用漢字・現代かなづかいを用い、数字は算用数字を用いること。図、表、写真は必要最小限にして別紙に書き、本文中にその挿入箇所を明示すること。本文にはページ数をつけること。
4. すべての投稿論文には、表題、著者名、所属機関名、論文の種別、連絡先住所、電話番号、Eメールアドレスを記載し、かつ表題、著者名、所属機関名については英語表記を添え、本文に添付する。原著および事例研究には、英文要約を必須とする。英文要約は100~200語で作成し、5項目以内のキー・ワードをつけること。英文要約およびキー・ワードについては日本語訳を添えること。英文は英語の専門家の校閲を経ていること。
5. 外国人名、地名に原語を用いる以外には、記述中の外国語になるべく訳語をつけること。
6. 引用文献は本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して記載し、本文中では、著者名(発行年)で引用すること。
 - a) 文献の記述形式は、雑誌の場合は、著者名、公刊年度(西暦)、論題、誌名、巻(ゴチック)、号、記載頁の順序による。単行本の場合は、著者名、発行年度(西暦)、書名、発行所の順とする。ただし編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者名を筆頭にあげ、以下発行年度、編者名、書名、発行所の順とする。
 - b) 同一著者で2種以上の文献がある場合には発行年度順とし、さらに同年度に同一人の2種以上の文献がある場合には1990a、1990bのように区別して記載すること。
7. 校正は、初校を著者、再校以降は編集委員会で行う。
8. 投稿論文については、執筆者に別刷り20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
9. 本誌に掲載された論文の原稿は、原則として返還しない。
10. 投稿に際しては、投稿原稿とは別に、著者名、所属機関名、謝辞を削除したコピー2部を添え、書留郵便(レターパック可)にて編集委員会宛に送付すること。郵送とは別に、投稿原稿をEメールの添付ファイルとして送ること。

編集委員

委員長：吉川 晴美

委員：伊東 正裕 茨木 博子 小笠原 美江 川幡 政道 針塚 進

編集規定

1. 本誌は日本心理劇学会の機関誌として年1巻発行する。
2. 本誌は、原則として本学会会員の心理劇に関する論文の発表にあてる。
ただし、非会員からの投稿論文で本学会に寄与するものは、掲載が認められることもある。
3. 本誌には、特集、原著、総説、事例研究、実践報告、短報、資料のほか書評、海外文献紹介、情報、会報などの欄をもうける。
4. 特集、書評欄は、原則として編集委員会の指定した依頼原稿によって構成する。
5. 原著論文は、心理劇あるいはその関連領域における未公刊の独自性ある論文で、学術的考察のなされているものとする。
6. 総説は、心理劇あるいはその関連領域における特定の主題についての学問的動向を見渡し、著者独自の論考がなされている論文とする。
7. 事例研究は、心理劇あるいはその関連領域の臨床・実践活動における事例について考察のなされている論文とする。
8. 実践報告は、心理劇あるいはその関連領域の臨床・実践活動で得た知識、経験、成果などを報告する論文とする。
9. 短報は、心理劇あるいはその関連領域における萌芽的研究で、今後発展が期待できる研究を手短にまとめたものとする。
10. 資料は、心理劇あるいはその関連領域における掲載する意義があると考えられる実践、調査、事例、理論等に関するレポートとする。
11. その他必要に応じ、編集委員会での検討により論文の種類を新たに設定することがある。
12. 投稿論文は編集委員会によって審査され、その掲載の可否が決定される。
なお、編集委員会は、会員もしくは会員外に審査協力を依頼することがある。
13. 本誌の編集は、編集委員会の責任のもとに行われる。
14. 原稿の印刷に特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。
15. 本誌に掲載された記事の著作権は、日本心理劇学会に帰属する。著者本人を除き日本心理劇学会の許可なく記事を複製および転載することはできない。

心 理 劇 第 21 巻 第 1 号 編集 日本心理劇学会編集委員会

2016 (平成 28) 年 12 月 1 日発行 発行 日本心理劇学会

〒 212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉 1-1 A-606

E-mail psy5role@yahoo.co.jp

FAX 044-511-5261

製作 社団法人やどかりの里

やどかり印刷

〒 337-0026 さいたま市見沼区染谷 1177-4
